

大館北秋田地域林業成長産業化協議会
第7回部会

協議記録

日時：令和元年7月23日（火） 13：30～16：00

会場：大館市役所比内総合支所 3階 301会議室

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 第7回部会 出席者名簿

大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	森林組合	大館北秋田森林組合	森林整備課長	阿部 昌宏	
2	素材生産者	(有)阿部林業	(欠席)		
3		(有)畠山造林	(欠席)		
4		(有)花田造材部	(欠席)		
5		(有)伊東農園	代表取締役	伊東 毅	
			部長	佐藤 保	
6		(有)新林林業	総括部長	赤石 勝正	
7		(有)山田造材部	総務担当	菊池 和俊	
8		山一林業(株)	(欠席)		
9		石上木材	(欠席)		
10		小林林業	(欠席)		
11		(有)佐栄林業	(欠席)		
12		(有)中田工業	(欠席)		
13		(株)石川組	代表取締役社長	島崎 祐男	
14	苗木生産者	秋田県山林種苗協同組合北秋田支部	(欠席)		
15		農事組合法人上仏社営農組合	(欠席)		
16	製材・加工事業者	秋田グルーラム(株)	資材部長	阿部 孝紀	
17		遠藤林業(株)	岩手工場	澤口 貢介	
18		(株)沓澤製材所	(欠席)		
19		九島木材(株)	(欠席)		
20		藤島木材工業(株)、藤島林産(株)	代表取締役社長	藤島 真砂子	
21		二ツ井パネル(株)	代表取締役	鈴木 稔	
22		古河林業(株)	工場長	藤島 勉	
23		(株)宮盛	(欠席)		
24	木材需要者	大館曲げわっぱ協同組合	(欠席)		
25	木質バイオマス事業者	北秋容器(株)	営業次長	佐藤 礼樹	
26		ボルター秋田(株)	専務取締役	伊藤 建吾	
27		K Sウッドソリューション(株)	工場長	鈴木 誠幸	
28	木材流通事業者	物林(株)	住環境システム部長	田口 慎二	
			国産材営業部	関口 祐之	
			国産材戦略室長	大貫 肇	
			プロジェクトマネージャー	齊藤 政子	
29	学識経験者	秋田県立大学木材高度加工研究所	准教授	足立 幸司	
30	市村	大館市	農林課農林整備係長	小棚木 信晴	
			農林課農林整備係主任	岩渕 裕太	
			農林課農林整備係主任主事	千葉 泰生	
			農林課農林整備係職員	松尾 早苗	
			農林課農林整備係職員	仲谷 寿敬	
31	北秋田市	北秋田市	農林課林業振興係副主幹	藤田 学	
			農林課林業振興係主事	長岐 英泰	
			農林課林業振興係主事	杉渕 亜希	
32		上小阿仁村	産業課林務商工班主査	田村 勇輝	

大館北秋田地域林業成長産業化協議会委託事業者

番号	名称	役職	氏名	備考
1	森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社	代表取締役	高田 克彦	

大館北秋田地域林業成長産業化協議会オブザーバー

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	行政機関	米代東部森林管理署	森林技術指導官	吉川 浩人	
			一般職員	井内 寛祐	
			一般職員	今 聖夜	
2		米代東部森林管理署上小阿仁支署	総括森林整備官	木村 秀樹	
			地域技術官	畠山 集	
3		秋田県農林水産部	主幹	高橋 正実	
4	秋田県北秋田地域振興局	森づくり推進課主査	小笠原 信幸		

第7回部会では、「部会長及び副部会長ヒアリング結果について」、「各部会のロードマップ進捗状況と今年度の取組内容」、「森林経営及び木材販売に係る協定書について」について協議を行いました。

【協議内容】

(1) 部会長及び副部会長ヒアリング結果について

・各部会で確認。

(2) 各部会のロードマップ進捗状況と今年度の取組内容

【再造林推進部会】

<部会員（再造林）>

・コンテナ苗生産について、昨年は10万本だったが、今年は約25万本、来年は約30万本を予定している。増産については問題ない。
・明らかに皆伐ができるところを間伐し、さらに太らせ山の価値を低下させるのはもったいない。再造林のためには間伐ではなく皆伐をできるように変えられないか。

<事務局（委託事業者）>

・主伐を進めていくと、必然的により苗が必要になってくる。全国的に不足しているということもある。

【秋田スギ・認証材利用促進部会】

<事務局（委託事業者）>

・「原料と製品」の課題・対策において、6月に部会で話し合ったが、再造林推進部会など含め、広く共有しておく必要がある。材の供給がタイトになるのは山側もわかってはいる。改めて共有しておく。

<部会員>

・需要側としては9月～11月に材の供給がタイトになる。その辺りに安定的に、市から提供されたフィールドやその他（県や企業）の民有林から材を供給できたら。

<事務局（委託事業者）>

・曲げわっぱに関してアドバイザーからお願いします。

<アドバイザー>

・曲げわっぱに関しては、今年度も米代東部森林管理署と協力して適材木の調査を行う。また、曲げわっぱとは少し違うが、10月には秋田桶樽サミットが開催される。桶樽も曲げわっぱ同様、高齢級秋田スギが利用されるという意味で、秋田スギの材は重要。

＜事務局（委託事業者）＞

・7月に検討し、8月から2月に実施とあるが、だとすれば7月には検討を終えなければ。部会の中だけで終わらないなら他の部会や県、市との進行も考えて。

＜部会員＞

・まだまだ時間足りない。
・大館市有林からの材を地域内で回すことになっているので、それを「ストーリー」としてPR等、一歩踏み出してほしい。

【木質バイオマス利用促進部会】

＜部会員＞

・H30の施設整備は順調。今年度も予定があり順次進めていく。

【総務部会】

・事務局（市村）から説明。質問なし。

【各市村のロードマップ進捗状況】

・各市村から説明。

＜事務局（委託事業者）＞

・それぞれの市村の立場で頑張してほしい。資料の書き方について北秋田市と上小阿仁村は「書いていませんでしたが」というのが多いので確認して提出すること。

（3）森林経営及び木材販売に係る協定書について

＜事務局（委託事業者）＞

・北秋田市と上小阿仁村は、これは行政としての判断（協定を締結しない）ということか。いいのか。首長もわかっているということか。どのステージの方が判断したのか。協定によらない方法はというのはいつ提示できるのか。

＜北秋田市＞

・部内の判断。来年度の予算に反映できるようにする。10月頃。

＜上小阿仁村＞

・首長の判断。時期は北秋田市と同じ頃。

＜事務局（委託事業者）＞

・首長の思いをしっかりと反映してもらいたい。協定ありきで進めてきたが、協定自体が難しいのであれば、協定によらない方法もありえる。柔軟に考えていく。いずれにしても協議会発足時の3首長による宣言が反故にならないように。

○その他

＜部会員＞

- ・ハード予算は今後どんな措置ができるか。
- ・運賃補助はできないか。

＜オブザーバー（秋田県）＞

- ・他事業のハード予算も含め、7月から9月に要望とる。その後、各要望に何の予算が付くか振り分ける。本協議会関連は、モデル事業の要望としてとりまとめて予算つけたい。
- ・国のメニューに、運賃補助はなく補助対象にならない。また、メニューを県で変えることはできない。

以上

大館北秋田林業成長産業化協議会 第7回部会（令和元年7月23日）

